

(4) 将来負担比率

—

令和3年度末において、一般会計が将来負担すべき実質的な負債額は、標準財政規模のマイナス(▲)22.5%となっており、将来負担比率は算出されませんでした。

この比率が高い場合は、財政規模に比べ、将来の負担が大きいのことであり、将来、財政を圧迫する可能性が高いということになります。

(算式)

$$\frac{\text{将来負担額} - \text{充当可能財源等}}{\text{標準財政規模} - \text{交付税算入額}} \times 100$$

令和3年度は、地方債残高、債務負担行為に基づく支出予定額、加入する組合の地方債償還に係る負担見込額が減少し、公営企業会計等への負担見込額、退職手当の支給予定額、公社等の負債等に係る負担見込額が増加し、総合すると将来負担額は5,969,622千円から5,934,210千円に減少しました。

交付税算入見込額は▲118,572千円減少しましたが、充当可能な基金残高が391,190千円増加し、将来負担比率は▲11.9%から▲22.5%に減少しました。

(単位：千円)

区分		3年度	2年度	差引	令和3年度決算の算定内容
A 将来負担額	①地方債残高	4,784,205	4,953,789	▲ 169,584	
	一般会計	4,784,205	4,953,789	▲ 169,584	
	②債務負担行為に基づく支出予定額	4,252	5,796	▲ 1,544	利子補給に係るもの4,252
	③公営企業会計等への負担見込額	407,903	344,568	63,335	簡水127,876、下水280,027
	④加入する組合の地方債償還に係る負担見込額	71,797	81,367	▲ 9,570	
	利根沼田広域市町村圏振興整備組合	71,797	81,367	▲ 9,570	広域消防費12,519 文化会館費59,278
	⑤退職手当の支給予定額	662,281	584,102	78,179	職員100名、特別職3名
	⑥公社等の負債等に係る負担見込額	3,772	0	3,772	群馬県信用保証協会
計(①～⑥の計)	5,934,210	5,969,622	▲ 35,412		
B 充当可能基金	2,534,474	2,143,284	391,190	財政調整基金1,946,756 高齢者福祉基金100,000他	
C 充当可能特定財源	0	0	0		
D 交付税算入見込額	3,995,541	4,114,113	▲ 118,572	交付税の算定上、基準財政需要額に算入される見込みの元利償還金等	
分子 A - (B + C + D)	▲ 595,805	▲ 287,775	▲ 308,030		

E 標準財政規模	3,038,413	2,796,380	242,033
F 交付税に算入された元利償還金等	392,834	386,876	5,958
分母 E - F	2,645,579	2,409,504	236,075

将来負担比率(分子/分母)(%)	▲22.52%	▲11.94%	
------------------	---------	---------	--

令和3年度決算に基づく将来負担比率
▲ 22.5%

<

早期健全化基準
350.00%